

あすなろの木

光明中だより
編集者：校長 上田薫
No.22号
平成31年2月18日

平成30年度を振り返って

「学校評価」及び「全国学力・学習状況調査結果」から

【本校スローガン】

「ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中」
～ 感動の風を起こそう！ ～

【学校教育の役割】

- 学力を育てる（「学ぶ力」を育てる）
- よき人に育てる（「自己肯定感・自己有用感」を育てる）

〈学校評価の公表〉

今年度4月、「光明中学校は、こんな教育を展開します！」を掲げ、一年間取り組んできました。

特に、学校スローガンにあるように、みんなで「たくさんの『感動』を味わおう！」と、いろいろな機会を通じて呼びかけてきたところ、君たちの方から「感動」という言葉が聞けるようになりました。この一年間、君たちや家族の皆さん、先生達みんなで、たくさんの感動物語をこしらえてきましたね！

また、学校教育の役割である2つの「育てる」は、どの学校にも当てはまる永遠のテーマで、私たちも日々心がけています。

「学力」を育てるとは、単に教科の知識や技能を身につけることを言うのではありません。授業を通して、「わかる喜び」や「発見できる感動」に触れることや、あらゆる物事への「興味や関心」を広め、「学ぶ意欲」を高めることが大切です。そうすることで、生涯にわたって「自主的に学ぶ力」が育って欲しいと考えています。

また、「よき人に育てる」とは、君たちが、人と人との関係の中で生きていくために「必要となる力」を育てることで、「他人（ひと）とコミュニケーションをしっかりと取り、自分のことを理解してもらったり、他人（相手）の考えや思いを

くみ取る力を身につけたりすること」や、あるいは「他人の役に立てることに力をそそぐこと」で、その為には「自分を大切にすること、自分と同じくらい他人を大切にすること」が全ての基本となります。このような力を「自己肯定感」や「自己有用感」と言います。

この一年間、さまざまな教育活動に対して、君たち



はどのように感じているのか、保護者の方々の感想はどうか、先生方はどのように力を入れてやってきたのかを確認するための1つの資料として「学校評価アンケート」を行い、その結果について分析・検証をしました。

引き続き、良いところはどんどん伸ばし、気になるところは改善点として捉え、進めていきたいと考えています。以下に、その分析結果を掲載します。

1. アンケート項目について

昨年度までと全く同じ質問内容（項目）で行いました。

君たちには、別紙資料にあるNo. 7～No. 18までの12項目について、保護者の皆様及び教職員は、No. 1～の全18項目について尋ね、昨年の結果と照らしあわせてみました。

回答方法は、以下の通りです。

「よく当てはまる」：5	「やや当てはまる」：4
「あまり当てはまらない」：3	「当てはまらない」：2
「わからない・判断できない」：1	

集計については、「わからない・判断できない」と回答した「1」を除く、全ての回答を合計し、回答した人数で除算（割り算）して数値化しました。

2. 分析・検証結果

(1) 全体的

昨年度と同じく、どの項目においても、肯定的に捉えている回答（そう思う、だいたいそう思う）が多く見られ（4点台が大半）ています。学校が日々取り組んでいることに対して、みんなや保護者の方々からの理解が得られていると受けとめています。

(2) 授業や学力及び進路に関すること（No. 7,14,15）

左でも話したように、君たちの学力が育つように、先生方は授業の工夫等を心がけ取り組んでいます。

特に、今年度は全ての学級教室に大型テレビ（モニター）が設置され、黒板だけではなく、パソコン等を使った授業も出来るだけ多く取り入れました。

自由記述で、君たちから「先生方が、授業を楽しくさせようと努力している。」「わかりやすい授業が多くなった。」という意見がありました。しかしその反対に「もっとテレビを多く活用して欲しい。」「もっとわかりやすい授業をして欲しい。」という意見も寄せられています。



今年度は「道徳」の研究授業に1・2年生で取り組みましたが、他の教科でも先生方が互いの授業を参観しあい研究を進めるなど、君たちの学力の向上を目指して、これからもどんどん取り組んでいきたいと考えています。

(3) いじめや問題行動への対応、規範意識の育成、人間関係について
(No.8,9,11,12,13)

特に、No.8 のいじめや問題行動の発見・対応については、君たちや保護者の方々からの回答（肯定率が3点台後半）や、自由記述で心配の声が寄せられました。「先生方が気づけていないところで、いじめが起きている。」「平気で嫌な発言をする人がいる。」「もう少し学級の間人関係を知って欲しい。」等、このことについては先生方全員で深く受けとめています。

「いじめは絶対に許さない。」こととして「いじめアンケート」や二者面談等の機会を活用したり、休み時間の様子を観察したりして、情報の収集や現状の把握に努めていますが、一部で悲しく、辛い思いをしている人がいることを、絶対に看過する（かんか：見すごしてしまう）ことは出来ません。

学校は「誰にとっても楽しく・充実したものでなければなりません。」

この学校に、こんな素敵な学校に、一人でも嫌な思いをしている生徒がいることを何より悲しく思います。先生方は君たちを守るために、全力で立ち向かい、力を注ぎます。絶対に守ります。その為には君たちの協力も必要です。

みんなで、楽しく笑いあって、励ましあって、支えあって、学校生活が送れるようにしていきましょう。これからもずっと！

(4) 学校行事、部活動、その他 (No.10,16,17,18)

先日2月の全校集会、インフルエンザの感染を防ぐことから、体育館ではなく、放送による集会を開きました。放送室から君たちに呼びかけましたが、その度に、校舎中から返事や応援の拍手をする大きな音が聞こえてきて、君たちの反応の良さに、とても嬉しく気持ちが熱くなっていました。本当に嬉しかったよ！



「感動の風を起こそう！」文化発表会や体育大会、合唱コンクールでは、その風が見事吹きまくり、大きな感動に何度も包まれました。その他、元気なあいさつや、声かけした時の反応、部活動での様子など、さまざまな場面で君たちの良さを発見することができました。たくさんの方が、自分や仲間の大切さや良さに気づき、高まりあうことができました。実際に、行事後の感想文、あるいは3年生の面接練習でその成果等について語ってくれる人が多く、とても嬉しく思えることを、この「あすなるの木」でもその度に紹介をしてきました。

「君たちは、どの子も本当に素直で、誠実である。」先日、先生方と君たちの良さを話し合った時に確認できたことです。そんな君たちは、今後2・3年生への進級していく中で、あるいは本校を巣立った後のそれぞれの次のステージにおいて、自分をしっかりと磨き、輝かせ、逞しく生きていくための力を身につけて欲しい。そう願っています。

別紙「アンケート集計結果」で、先生方の回答数字がすべての項目（内容）において高くなっています。それは、例えば「いじめは絶対に許してはならない」

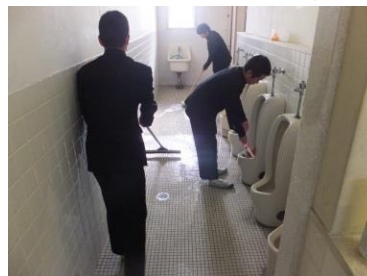
「授業はわかりやすくしなければ」「行事で一緒に盛り上がっていきたい」「のびのびと安心した学校生活を送らせたい」等々、そうしていかなければならないと強く考えている「証（あかし：確かであるということ）」です。

さらなる、充実・発展を目指し、先生方も取り組んでいきます。君たちや保護者の方々からの意見や様子等を大事にして取り組んでいきますので、気がついたことがあればこれからも教えてください。よろしくお願いします。

※ 最後に学校施設環境について（特に保護者の皆様）

トイレの異臭への改善等、根本的な改修・改善に関するご意見が多く寄せられています。それ以外にも、校舎内の壁面の汚れを気にくださり、良かったら一緒に汚れ落としに参加するといった声もいただいています。

写真の通り、子どもたちは毎日一生懸命に掃除を行い、少しでも回避できるように努めてくれています。引き続き、市と相談し改善に向けて進めていきます。



〈全国学力・学習状況調査結果の公表〉

毎年、4月20日頃、3年生を対象に全国・学力学習状況調査が行われています。教科は国語と数学、今年度は理科も加えられました。

また、学習習慣や生活習慣等に関する調査も行われています。

調査が、新しい学年になってすぐの4月に行うため、質問によっては、2年生の時のことを思い浮かべて答えることも多く含まれています。このことから、今年度一年間の振り返りを公表する、今のタイミングとは異なってしまうこともあることを踏まえて読んでください。

尚、この調査結果については、学校 HP で掲載します。ここでは結果概要をお伝えします。

【結果概要】

- 本校生徒の平均正答率は、3教科とも全国・県平均（正答率約70%）と比べて、約3ポイント～5ポイント以上、上回っている結果でした。
- 自己肯定感を問う質問「自分にはよいところあると思いますか。」では約75%以上の方が、また、自己有用感を問う質問「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では、約90%以上の方が「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と肯定回答をしました。
- また規範意識を問う質問においても、「学校の規則をまもっていますか」では約95%以上の方が、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」では約90%以上の方が、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と極めて高い肯定回答をしました。